

能登半島地震災害廃棄物処理に係る現地視察

1. 業務概要

令和6年1月に発生した能登半島地震においては、石川県を中心に大量の家屋等の解体ごみや片付けごみが発生し、令和7年度末までに概ねの災害廃棄物処理が実施された。本業務は自治体等の災害廃棄物担当者の知見等を向上させることを目的に、石川県奥能登地方における災害廃棄物仮置場での運営管理、また分別や選別、破碎等の処理の状況について把握、確認するため、現地視察及び事前説明会と事後意見交換会を実施した。

現地視察及び事前説明会と事後意見の行程等を図表 1-1～図表 1-3 に示す。

図表 1-1 視察等行程

日	時間	行程
5/27 事前 説明会	15:00~16:30	会場：金沢第二ビル 5 階会議室 ・ 5/28 視察工程の説明 ・ 令和 6 年能登半島地震における災害廃棄物処理の状況説明 ・ 標準的な公費解体の概要説明
5/28 現地 視察	7:00~7:30	集合、点呼（金沢駅西広場団体バス乗降場集合）
	7:30~7:35	主催者挨拶、金沢駅を出発
	7:35~7:40	担当者紹介、視察行程説明
	8:00~8:30	現地関係者より現地状況等の説明、質疑
	8:45~9:00	トイレ等休憩（西山 PA）
	9:00~10:00	現地関係者より現地状況等の説明、質疑 現地関係者：石川県、産業資源循環協会、応用地質（株） （合間に現地撮影 DVD を車内で放映）
	10:30~10:40	珠洲市飯田港到着、珠洲市より挨拶、現地状況説明
	10:40~11:10	飯田港海上輸送積込場所視察
	11:10~11:30	飯田港→ジャンボリー仮置場に移動
	11:30~12:00	ジャンボリー仮置場視察（バス内から運営状況を視察）
	12:00~12:50	ジャンボリー仮置場→道の駅桜峠に移動 移動中にバス車内で昼食
	12:50~13:20	トイレ等休憩（道の駅桜峠） （道の駅桜峠ではお土産等の買い物も可能）
	13:20~13:50	道の駅桜峠→穴水町あすなろ広場に移動
	13:50~14:00	穴水町あすなろ広場到着、穴水町より挨拶、現地状況説明
14:00~14:30	あすなろ広場仮置場視察	
14:30~15:30	穴水町を出発、西山 IC に移動	
15:30~15:45	トイレ等休憩（西山 IC）	
15:45~17:00	西山 IC→金沢駅に移動（移動中に質疑、アンケート記入）	
17:00	金沢駅で解散（当日の現地の状況により到着が遅れる可能性あり）	
5/29 意見 交換会	9:00~10:30	会場：金沢第二ビル 5 階会議室 ・ 現地視察結果の意見交換 ・ 質疑応答

図表 1-2 集合場所・会場

●5月27日事前説明会、5月29日意見交換会

金沢第二ビル 5階会議室

集合時間

5月27日 15:00

5月29日 9:00



●5月28日現地視察

金沢駅西広場団体バス乗降場

集合時間 7:00 (点呼後 7:30 出発予定)



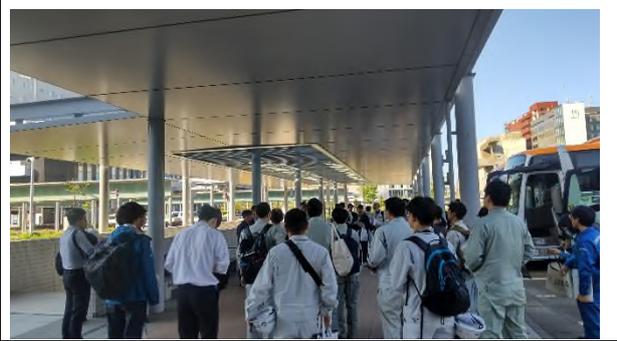
図表 1-3 視察ルート



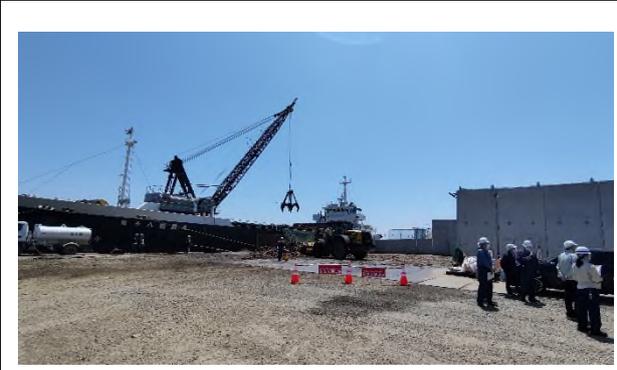
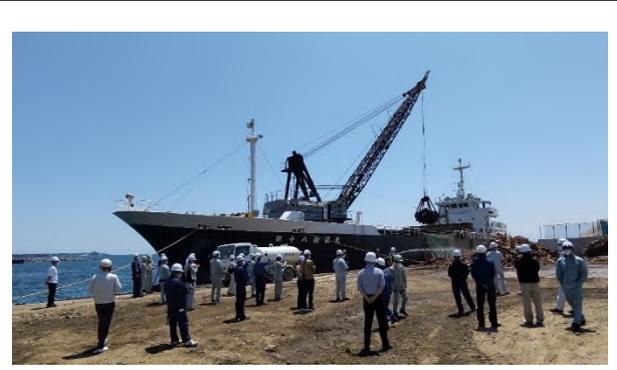
2. 現地視察結果

現地視察状況を図表 1-4～1-7 に示す。

図表 1-4 金沢駅集合状況

	
<p>金沢駅集合時</p>	<p>資源循環課課長より挨拶</p>
	
<p>車中での説明</p>	<p>使用したバス</p>

図表 1-5 珠洲市飯田港視察状況

	
<p>飯田港全景</p>	<p>飯田港での木くず海運積込の視察</p>
	
<p>珠洲市環境建設課課長補佐より挨拶</p>	<p>(株) タケエイより状況説明</p>

図表 1-6 珠洲市仮置場（ジャンボリー跡地）視察状況

	
<p>ジャンボリー跡地の全景</p>	<p>破碎コンガラストック状況</p>
	
<p>不燃物エリア</p>	<p>木くずエリア</p>
	
<p>重機・破碎機の稼働状況</p>	<p>コンテナ設置状況</p>
	
<p>危険物保管エリア状況</p>	<p>(株)タケエイより状況説明</p>

図表 1-7 穴水仮置場（あすなる広場）視察状況

 <p>穴水町環境安全課長</p>	
<p>穴水町環境安全課長より挨拶</p>	<p>屋根のある家電置場</p>
 <p>富山環境整備・レックスHDJV</p>	
<p>富山環境整備・レックス HDJV より状況説明</p>	<p>家電集積状況</p>
	
<p>消火器集積状況</p>	<p>可燃物集積状況</p>
	
<p>コンがら集積状況</p>	<p>木くず破碎状況</p>

3. 事後意見交換会結果

●日時

令和7年5月29日（木）9：00～10：50

●会場

金沢第二ビル5階会議室

●出席者

近畿地方環境事務所 4名

自治体参加者 7名（和歌山県、滋賀県愛荘町、大阪府堺市、大阪府枚方市2名、兵庫県神戸市2名）受託事業者 4名

図表 1-8 事後意見交換会実施状況



図表 1-9 意見交換（仮置場等の選定）

参加者による主な意見・質問	主催者による主な回答
<ul style="list-style-type: none"> ● 広さのある市町村有地の確保が難しい。 ● 仮置場は集約か、分散か。 ● ヘリポートを候補地としてもよいか。 ● 屋根付き敷地の確保。 ● 集積地の公表はすべきか。 ● 港湾の仮置場活用の重要性を実感。 ● 河川敷の利用は難しいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国有地、企業等の私有地（民有地）、津波襲来後の浸水区域の活用。優先順位としては、市町村有地→民有地→府県有地→国有地。他部局がすでに民有地を確保している場合もある。 ● 土地確保の難易度、交通渋滞抑制という観点から分散設置にも利点がある。 ● あすなる広場がヘリポートであるため、時間軸を考慮すれば問題ない。発災直後は、ヘリポートとして使用し、その後、仮置場の活用ということも考えられる。災害時の対応や状況を時系列で把握することで、他用途の候補地でも利用できる可能性がある。 ● 収集された家電はリサイクルを想定するため、屋根付きの敷地での保管は望ましい。 ● 市町村が指定して設置するのではなく、地元住民に申請してもらう方法もある。 ● 港湾は国の防災拠点に指定されている可能性もあるため留意が必要。 ● また、重機・車両の利用による護岸の耐久性への注意や、搬出のための船舶が入港可能かどうかの確認も必要。 ● 一次的な積み替えの場としての利用は事例あり。天候により豪雨が想定される場合等には、一時的に閉鎖する等の対応が必要。

図表 1-10 意見交換（管理・運営）

参加者による主な意見・質問	主催者による主な回答
<ul style="list-style-type: none"> ● 今回、ファストレーンは設置されたか 	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和2年7月豪雨（熊本県人吉市）で設置。ただ、住民の車両と自治体・事業者の大型車両・重機が混在することとなるため、小規模な仮置場では設置が難しい。時間帯で搬出・搬入を分けることも考えられるが、夜間作業は騒音に注意。

図表 1-11 意見交換（各種連携）

参加者による主な意見・質問	主催者による主な回答
<ul style="list-style-type: none"> ● 県に解体業協会がない、又は連携が築けていない。 ● 市町村においても事業者との調整は必要か。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 建設業協会との協定を締結している高知県の事例あり。平時から、災害時の対応範囲等について確認と協議を行っておくが必要。 ● 府県の締結している協定に基づき、市町村も対応を行うことになるため、平時からの関係構築が重要。業界との連携とともに府県と市町村の連携、部局間の連携も重要。

図表 1-12 意見交換（災害時の分別）

参加者による主な意見・質問	主催者による主な回答
<ul style="list-style-type: none"> ● 分別はどの程度まで行うべきか。 ● 混載された場合の分別、処理はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一律の基準はないが、その後の処理・処分に適した分別を考慮して決定すべき。そのため、平時より産資協等の事業者との調整が必要。 ● まず、混載しないように広報による分別指導が重要。分別に関する広報チラシを用意し、発災後配布すると効果があった。混載してしまった場合、仮置場で分別。

図表 1-13 意見交換（その他）

参加者による主な意見・質問	主催者による主な回答
<ul style="list-style-type: none"> ● 府県と市町村の連携の重要性 ● 仮置場開設における各主体の役割 	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害廃棄物対応、特に家屋解体は、土木・建設部局との連携が重要。 ● 市町村の対応として、まず協定事業者と調整。入札等により事業者確保する場合、国から候補の提示は可能。